



富山県議会議員

# 大門 良輔

だいもんりょうすけ

住みたい! 働きたい! 訪れたい!  
選ばれる富山県へ

Vol. 2

令和2年2月発行



## ご挨拶

日頃から皆様には、議員活動に対し温かいご理解とご支援を賜り心から感謝申し上げます。おかげさまで、自民党観光建設部会の副部会長を拝命し、観光や建設関係の業界団体からの要望や政策をまとめる1人として充実した議員活動をさせていただいております。

昨年は朝乃山関の令和初の大相撲優勝や八村塁選手のNBAの活躍など富山県選手が全国や世界で活躍し胸を熱くした年でした。この活躍も後押しとなり、富山県の知名度は少しずつ高まってきていると感じております。中でも移住者が過去最高の905人となり、ここ10年で4.5倍の伸び率です。そして移住希望地ランキングも全国8位まで上がってきました。しかし、まだまだ富山県や滑川市の自然や暮らし、子育てなど成長できる可能性があると考えており、さらなる魅力発信に尽力してまいります。また近年では全国的に自然災害が多く発生し、改めて災害に対する備えの必要性を感じさせられた年でもありました。今後、想定を超える雨に対して、早月川や上市川、沖田川などの防災減災の事業を継続させ、市民の皆様の根源である生命財産を守ってまいります。

令和の新時代、皆様にとって希望が持てる年となり、お一人おひとりが素敵なお花が咲き誇る事を心よりお祈り申し上げます。

富山県議会議員 大門 良輔

## 子どもプロジェクト始動

近年、貧困や虐待、ひきこもりなど子どもの問題が多様化し、大きな社会問題となっています。そこで県議会は子どもプロジェクトを立ち上げ子どもの権利や安全を守るために条例化に向けて、勉強会や視察など精力的に行ってています。

先日、厚生労働省へ行き、各担当者から貧困や虐待に関する勉強会を行い、加藤厚生労働大臣や自見厚生労働政務官と子どもたちの課題について意見交換をさせていただきました。

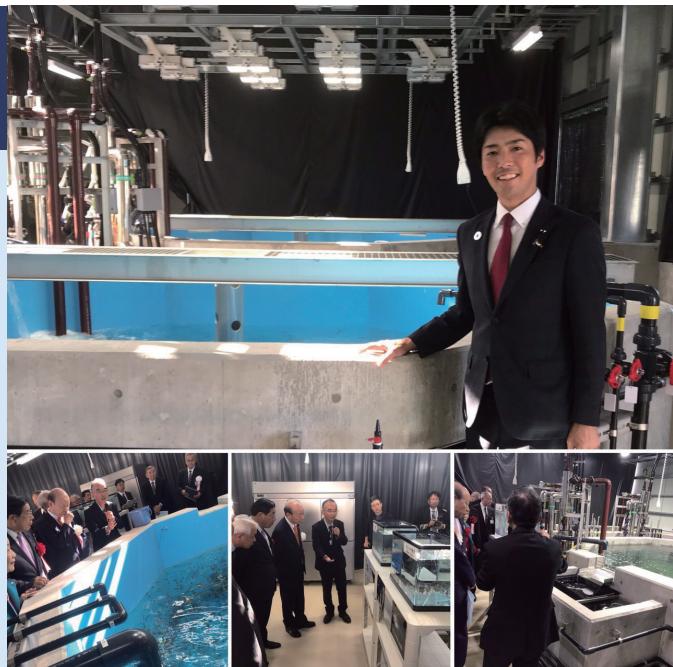


## 滑川市の水産研究所に 新施設が誕生

水産研究所にキジハタとアカムツの研究施設が新たに誕生しました。近年富山県の漁獲量が減少している中で、産み育てる漁業として栽培漁業が注目されています。

キジハタとアカムツは中でも高級魚として単価も高く、この研究は全国的にも注目されています。

5年後の実用化に向けて研究が進み海洋資源が豊かになる事を期待します。



## 和歌山県へ空港の民営化と 地方創生の取り組みを視察

和歌山県の南紀白浜空港が2019年4月に民営化しました。民間の発想で利用客を増加させ、まち全体をネットワークで繋ぎ新たな地方創生の取り組みをしています。

全国的にも空港の民営化が進んでおり、2020年には北海道や熊本の空港も民営化を予定しています。民間で黒字化している空港もあり、富山キトキト空港も今後の研究課題であります。



## T Messe 2019 ものづくり見本市

T Messe 2019ものづくり見本市がテクノドームで開催されました。県内企業282社が出展し高い技術や製品を国内外に発信するとともに、ものづくり人材の育成や確保を目的としています。

商談も8,317件行われ富山県の技術が世界に大いに発信する機会となりました。

また工業系の高校生や大学生が見学に訪れ、県内の企業を知るきっかけになったと感じています。



## 北海道へスマート農業の視察

経済産業委員会の視察で北海道へ行つきました。北海道は全国でも屈指の農業大国であり、スマート農業の先進地です。ここでは農業の省力化を目指し、トラクターが無人で作業をする実証実験が行われています。

これからの農業は担い手不足や高齢化が進み、どのように農業を守っていくのか大きな課題であり、スマート農業の重要性を学んできました。



## 自民党農業問題調査会で 県内の農業視察

自民党農業問題調査会で「射水市の布目沢営農」で実証実験が行われている自動水管理システムや「いみず野農協」の1億円産地づくり品目である、えだまめ栽培や工場などを視察してきました。

農業者の所得向上や若手農家を増やすためにスマート農業の普及はかかせません。今後導入にむけてしっかり支援していきます。



## 政調会へ滑川市の要望活動

近年、台風19号など想定量を超える雨が降り自然災害が多発しています。

今後、国は防災減災3カ年計画で、土木費の予算を増額し国土強靭化に向けて取り組みをしています。今後、滑川市も河川や農業用水路、海岸など危険な箇所について、しっかりと整備を進めなければなりません。

そこで実際に自民政調会や富山県の担当者に整備が必要な箇所を見させていただき工事の必要性を強く要望しました。



# 11月議会予算特別委員会にて質問

## 災害における安心安全について



**石井知事** 県では過去に大きな浸水被害がでた河川や住宅等に被害が発生した河川などのかさ上げや幅を広げる工事、また護岸の整備、例えば滑川市の沖田川では放水路の建設など計画的重點的に進めてきた。今後はどういったことにどうまらず、国で進められている検討結果も踏まえて、県としても治水計画の見直しを進めていきたいと考えている。

**大門良輔** 台風19号では、洪水浸水想定区域の前提である千年に一度とされる想定最大規模を超える降雨が箱根で発生し、今後、本県でも発生する可能性があると考えるが、防災・減災対策をどのように進めていくのか、問う。

## 地域医療構想について



**大門良輔** 9月に厚生労働省が、廃止や統廃合を含む再検証を要請する病院を公表したことは、地域の実情を把握せず、数字上だけで判断したものであると考えるが、どのように受け止めているか。

**石井知事** 先般の国の発表は一方的な

発表で、住民の皆さんに不安や不信をあおるようなかたちとなり遺憾に思う。厚生連滑川病院においても平成27年に地域包括病棟に転換されている。また他の病院も、へき地医療や救急医療を担うなど、各地域で重要な役割を担つていると考えている。今後、各医療機関の役割や機能について地域医療構想調整会議で十分に議論をしてもらい、将来にわたって地域医療が確保されるように取り組んでいきたい。

## 医療的ケア児について



**大門良輔** 医療的ケア児が入所できる保育所はほとんどなく、訪問看護や居宅介護などのサポートをしてくれる事業所も少ないことから、母親は、かかりつけりで子供の面倒を見ており、働きたくても働けず、医療費もかかることから家計はかなり苦しい。医療的ケア児を見ることが出来る看護師が少ない現状を踏まえ、サポート体制を強化すべきと考えるがどうか。

**市村厚生部長** 各事業所で適切なサポートが出来るよう看護師を対象とした研修会の実施や、医師と看護師を対象とした小児医療児実技研修会を行うなど、専門的な人材の養成に向けて動いております。

今後は保育所など医療的ケア児の受け入れ体制の整備や看護師の養成など医療的ケア児の支援体制を強化していく

発行人 自由民主党富山県議会議員会 大門良輔  
令和2年2月発行

富山県議会議員 大門 良輔

●出前講座ご希望の方は下記までお問い合わせ下さい。

住所：滑川市高月町561 TEL:076-475-0455 FAX:076-475-9888

MAIL: ryousukedaimon0326@gmail.com

FB : <https://www.facebook.com/ryosuke.daimon.7>

